



2021年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年3月17日

上場会社名 コーセル株式会社

上場取引所 東

コード番号 6905 URL <https://www.cosel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷川 正人

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小西 有吉

TEL 076-432-8151

四半期報告書提出予定日 2021年4月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第3四半期の連結業績(2020年5月21日～2021年2月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第3四半期	19,906	11.9	2,404	90.1	2,720	107.7	1,823	257.0
2020年5月期第3四半期	17,792	16.9	1,265	58.5	1,309	56.3	510	73.8

(注) 包括利益 2021年5月期第3四半期 2,354百万円 (%) 2020年5月期第3四半期 174百万円 (90.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第3四半期	52.59	
2020年5月期第3四半期	14.66	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第3四半期	43,946	39,882	90.7	1,148.64
2020年5月期	42,291	38,271	90.4	1,103.09

(参考) 自己資本 2021年5月期第3四半期 39,839百万円 2020年5月期 38,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期		8.00		12.00	20.00
2021年5月期		10.00			
2021年5月期(予想)				9.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年5月21日～2021年5月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	8.9	2,420	45.1	2,630	60.7	1,700	459.3	49.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期3Q	35,712,000 株	2020年5月期	35,712,000 株
期末自己株式数	2021年5月期3Q	1,028,153 株	2020年5月期	1,054,697 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年5月期3Q	34,677,083 株	2020年5月期3Q	34,836,628 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響が懸念される中、中国では早期に市況が回復し、その他地域においても徐々に事業環境が改善しつつあります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う行動抑制や低迷する米中関係の影響もあり、先行きは不透明な状況であります。

エレクトロニクス業界におきましては、自動車やスマートフォン向け需要が回復傾向にあり、また、リモートワークや外出制限による巣ごもり消費等でデータセンターやゲーム機器関連需要が増加したことで、半導体需要の増加及び設備投資が進みました。

このような情勢の中で当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響によりお客様への訪問営業ができなくなる中、電話・メール・ウェブを使った拡販活動に注力してまいりました。

新製品につきましては、小型力率改善回路内蔵AC入力パワーモジュール電源「TUNSシリーズ」の大電力タイプ「TUNS1200F」、小型基板単体マルチスロットタイプAC-DC電源「RBシリーズ」の電力拡充モデル「RBC300F」、小型高絶縁タイプDC-DCコンバータ「MHシリーズ」をそれぞれ市場投入いたしました。

また、生産面では、前期から継続して新型コロナウイルスの感染予防に努めるとともに、先行きの不透明感から増加している先行受注への対応として、部材の安定調達及び生産能力の増強を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は188億14百万円（前年同期比2.0%増）、売上高は199億6百万円（同11.9%増）となりました。利益面におきましては、売上高の増加、経費削減活動や新型コロナウイルス感染症の影響による経費支出の先送りに加え、為替による影響があったことにより、経常利益は27億20百万円（同107.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億23百万円（同257.0%増）となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期比で大幅に増加したのは、前第3四半期連結累計期間においてヨーロッパ生産販売事業で事業再編損を計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益が低調だったことによるものであります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本生産販売事業

日本国内では、前第4四半期からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大を見越した先行発注による受注急増の反動として、顧客・販売店の在庫及び発注調整があり、第2四半期までの需要は全体的に低調だったものの、それ以降は半導体製造装置関連需要の急回復に加え、FA関連も回復基調にあります。

営業活動につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当社が重視してきた訪問面談が制限される中、販売店との情報共有強化を図り、お客様とのウェブ面談やメールを中心とした拡販活動に取り組んでまいりました。

この結果、前期末の先行発注による受注残の消化もあり、外部顧客への売上高は、127億1百万円（前年同期比14.4%増）、セグメント利益は23億65百万円（同107.5%増）となりました。

②北米販売事業

米国では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要の減少を、FAや半導体製造装置、医療機器関連の需要で補い、好調に推移しました。

営業活動につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動が制限される中、ウェブやメールを中心にファクトリーレップとの連携を図りつつ、拡販活動に注力してまいりました。新製品につきましては、動画を用いてプロモーション強化に取り組んでまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、14億53百万円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益は1億41百万円（同50.7%増）となりました。

③ヨーロッパ生産販売事業

ヨーロッパでは、新型コロナウイルス感染症が再拡大しており、需要が低迷しました。特にスウェーデンに本拠点を置くPowerbox社のカスタム電源ビジネスは、第3四半期からF A関連で一部回復傾向が見られましたが、全体としてはヨーロッパ経済の低迷を受け、低調に推移しました。

営業活動につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により自由な移動ができない中、テレワーク中心になっており、ウェブを使った拡販活動に注力してまいりました。

この結果、外部顧客への売上高は、35億83百万円（前年同期比6.7%減）、セグメント損失は3億43百万円（前年同期はセグメント損失2億79百万円）となりました。

④アジア販売事業

アジアでは、中国においては早期に経済活動を再開し、生産活動や投資活動が緩やかに回復したこともあり、F Aや医療機器関連の需要が堅調に推移しました。また、韓国においては第3四半期から半導体製造装置関連の需要が回復しました。

営業活動につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、電話・メール・ウェブを使った拡販活動が中心になっており、特に新規開拓のためのウェブマーケティングに注力しております。

この結果、外部顧客への売上高は、21億67百万円（前年同期比44.9%増）、セグメント利益は1億16百万円（同200.2%増）となりました。

⑤中国生産事業

中国生産事業におきましては、新製品の生産能力向上のための増員及び生産設備の増強を進めております。また、新型コロナウイルス感染症による中国市場への影響はほぼ解消し、受注・出荷は増加傾向にあります。

この結果、セグメント間の内部売上高は、10億13百万円（前年同期比25.7%増）、セグメント利益は1億1百万円（同36.3%減）となりました。

なお、参考までに記載すると製品別の業績は、次のとおりであります。

1) 受注高及び受注残高

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月21日 至 2021年2月20日)		当第3四半期連結会計期間末 (2021年2月20日)	
	受注高 (百万円)	対前年同期増減率	受注残高 (百万円)	対前年同期増減率
コーセル製品				
ユニット電源	9,889	0.4%	2,978	24.6%
オンボード電源	5,407	21.1%	1,701	14.0%
ノイズフィルタ	733	△11.4%	169	△13.5%
PRBX製品 (※1)	2,784	△15.9%	2,399	△0.6%
合計	18,814	2.0%	7,249	11.6%

2) 売上高

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月21日 至 2021年2月20日)	
	売上高 (百万円)	対前年同期増減率
コーセル製品		
ユニット電源	10,804	14.7%
オンボード電源	5,472	21.2%
ノイズフィルタ	866	16.0%
PRBX製品 (※1)	2,763	△11.0%
合計	19,906	11.9%

(※1) PRBX製品：Powerbox International ABが開発、製造、販売する製品群

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は289億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億66百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が26億11百万円、受取手形及び売掛金が8億36百万円、有価証券が9億円、たな卸資産が8億88百万円増加したことによるものであります。

固定資産は149億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億11百万円減少いたしました。これは主に、為替変動の影響により、のれん等の無形固定資産が1億45百万円増加した一方で、有形固定資産が1億97百万円、投資有価証券が35億円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は439億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億54百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は33億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が94百万円、未払法人税等が5億円増加した一方で、賞与引当金が1億90百万円、その他が3億33百万円減少したことによるものであります。

固定負債は7億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は40億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は398億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億11百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益18億23百万円、剰余金の配当7億62百万円等により、株主資本が10億85百万円増加し、その他有価証券評価差額金が82百万円、為替換算調整勘定が4億42百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は90.7%（前連結会計年度末は90.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2020年12月16日の「2021年5月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想を変更しておりません。

第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高においては概ね計画通りに推移しておりますが、利益面におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により経費支出が先送りになっているものもあり、業績予想を上回る結果となっております。しかしながら、第4四半期連結会計期間以降、新型コロナウイルス感染拡大の長期化による各経費支出の変動、部材の入手難等から業績に影響を及ぼす可能性があります。その影響については、現時点において合理的に見積もり、業績予想を算出することが困難であるため、通期の業績予想を据え置いております。今後、合理的な算出が可能となり、開示が必要と判断された時点で速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,274,316	10,885,481
受取手形及び売掛金	7,332,942	8,169,018
有価証券	3,300,000	4,200,000
商品及び製品	1,314,902	1,743,900
仕掛品	244,524	403,442
原材料及び貯蔵品	2,844,054	3,144,539
その他	432,196	452,284
貸倒引当金	△13,515	△3,091
流動資産合計	23,729,421	28,995,574
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,443,367	6,745,242
減価償却累計額	△2,933,434	△3,116,010
建物及び構築物(純額)	3,509,933	3,629,231
機械装置及び運搬具	7,345,781	7,430,602
減価償却累計額	△5,726,265	△5,992,580
機械装置及び運搬具(純額)	1,619,516	1,438,022
工具、器具及び備品	5,745,104	5,838,750
減価償却累計額	△5,269,722	△5,355,165
工具、器具及び備品(純額)	475,382	483,585
土地	1,160,362	1,184,262
リース資産	191,966	220,528
減価償却累計額	△48,053	△94,137
リース資産(純額)	143,912	126,390
建設仮勘定	157,939	7,694
有形固定資産合計	7,067,046	6,869,186
無形固定資産		
ソフトウェア	34,223	33,438
技術資産	609,948	638,760
顧客関連資産	807,832	878,479
のれん	1,238,605	1,287,534
その他	25,934	24,255
無形固定資産合計	2,716,544	2,862,468
投資その他の資産		
投資有価証券	8,208,578	4,707,949
退職給付に係る資産	153,425	155,427
繰延税金資産	307,819	229,803
その他	108,718	125,741
投資その他の資産合計	8,778,541	5,218,922
固定資産合計	18,562,132	14,950,577
資産合計	42,291,553	43,946,151

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年2月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,332,862	1,427,447
未払金	269,746	332,852
リース債務	55,418	61,487
未払法人税等	121,422	621,837
賞与引当金	361,960	171,365
製品保証引当金	219,000	156,000
その他	922,633	588,819
流動負債合計	3,283,044	3,359,810
固定負債		
繰延税金負債	268,450	294,950
退職給付に係る負債	215,443	216,732
リース債務	85,962	62,109
その他	167,488	130,174
固定負債合計	737,345	703,966
負債合計	4,020,390	4,063,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,055,000	2,055,000
資本剰余金	2,279,881	2,279,881
利益剰余金	35,559,506	36,614,796
自己株式	△1,209,048	△1,178,604
株主資本合計	38,685,340	39,771,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	186,370	268,915
為替換算調整勘定	△643,172	△201,048
退職給付に係る調整累計額	1,456	364
その他の包括利益累計額合計	△455,345	68,231
非支配株主持分	41,169	43,068
純資産合計	38,271,163	39,882,374
負債純資産合計	42,291,553	43,946,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月21日 至 2020年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月21日 至 2021年2月20日)
売上高	17,792,654	19,906,516
売上原価	12,725,522	13,744,006
売上総利益	5,067,132	6,162,509
販売費及び一般管理費	3,801,799	3,757,554
営業利益	1,265,333	2,404,955
営業外収益		
受取利息	21,658	14,543
受取配当金	45,765	29,320
為替差益	—	214,797
受取補償金	24,765	4,961
持分法による投資利益	—	21,503
その他	34,544	34,006
営業外収益合計	126,734	319,133
営業外費用		
支払利息	7,129	3,159
為替差損	69,926	—
自己株式取得費用	2,739	—
その他	2,818	803
営業外費用合計	82,613	3,963
経常利益	1,309,453	2,720,125
特別利益		
固定資産売却益	388	1,645
補助金収入	—	50,000
受取保険金	—	10,740
特別利益合計	388	62,385
特別損失		
固定資産売却損	27,038	289
固定資産除却損	1,493	5,464
事業再編損	315,831	14,065
特別損失合計	344,362	19,819
税金等調整前四半期純利益	965,479	2,762,692
法人税、住民税及び事業税	324,414	884,765
法人税等調整額	136,484	50,202
法人税等合計	460,898	934,967
四半期純利益	504,580	1,827,724
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,207	4,118
親会社株主に帰属する四半期純利益	510,787	1,823,606

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月21日 至 2020年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月21日 至 2021年2月20日)
四半期純利益	504,580	1,827,724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,171	82,544
為替換算調整勘定	△314,104	444,947
退職給付に係る調整額	△7,648	△1,092
その他の包括利益合計	△329,924	526,400
四半期包括利益	174,656	2,354,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	172,890	2,347,183
非支配株主に係る四半期包括利益	1,766	6,941

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年5月21日 至 2020年2月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 生産販売事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	11,105,439	1,349,486	3,841,544	1,496,183	—	17,792,654	—	17,792,654
セグメント間 の内部売上高	2,469,329	—	—	—	805,795	3,275,124	△3,275,124	—
計	13,574,769	1,349,486	3,841,544	1,496,183	805,795	21,067,779	△3,275,124	17,792,654
セグメント利益 又は損失 (△)	1,139,951	93,829	△279,621	38,689	159,465	1,152,315	113,017	1,265,333

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額113,017千円は、セグメント間の取引消去66,715千円及び棚卸資産の未実現損益の消去46,301千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失 (△) の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年5月21日 至 2021年2月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本生産 販売事業	北米販売 事業	ヨーロッパ 生産販売事業	アジア販売 事業	中国生産 事業	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	12,701,167	1,453,701	3,583,861	2,167,785	—	19,906,516	—	19,906,516
セグメント間 の内部売上高	3,126,841	—	1,396	—	1,013,144	4,141,383	△4,141,383	—
計	15,828,009	1,453,701	3,585,257	2,167,785	1,013,144	24,047,899	△4,141,383	19,906,516
セグメント利益 又は損失 (△)	2,365,637	141,444	△343,769	116,134	101,630	2,381,078	23,876	2,404,955

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額23,876千円は、セグメント間の取引消去54,389千円及び棚卸資産の未実現損益の消去△30,512千円であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失 (△) の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。